

## 気候情報

### 2008年9月の日本の天候

- 全国的に気温が高かった
- 北日本では日照時間が多く、降水量が少なかった
- 台風により、沖縄・奄美で記録的な大雨となった

#### 9月の天気概況

全国的にほぼ月を通して気温が高かった。北日本と東日本日本海側では、高気圧に覆われて晴れることが多く、気温が高く、降水量が少なかった。また、北日本では日照時間が多く、特に北日本日本海側では、1946年以降第1位の多い記録となった。東日本太平洋側と西日本では、前半は高気圧に覆われて、晴れる日が多かったが、後半は台風、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多く、太平洋側を中心に広い範囲でまとまった雨となった。台風第13号が月半ばに、先島諸島に接近した後、日本列島南岸を東進した。また、台風第15号が月末に先島諸島に接近した。台風の接近に伴い、沖縄・奄美では暴風や大雨となった。特に与那国島では、台風第13号の接近に伴い、観測開始以来最大となる日降水量765.0ミリを記録した。

**上旬：**初めは低気圧や湿った気流の影響で所々で雨となったが、中頃からは高気圧に覆われ、晴れの日が多かった。沖縄・奄美では、旬の終わりに台風第13号の影響で曇りや雨となった。

**中旬：**前半は、台風第13号が先島諸島に接近し、沖縄地方では暴風や大雨となり、与那国島では記録的な大雨となった。北日本から西日本にかけては、高気圧に覆われて晴れの日が多かった。後半は、北日本と沖縄・奄美では高気圧に覆われ晴れの日が多かったが、東日本太平洋側と西日本では、前線や本州南岸を東進した台風第13号の影響で曇りや雨の日が多く、東日本と西日本の太平洋側で大雨となった所もあった。

**下旬：**北日本から西日本にかけては、低気圧や前線の影響で、曇りや雨の日が多かった。中頃には低気圧の通過後に北日本を中心に寒気が南下した。沖縄・奄美では、前半は高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、後半は台風第15号が接近したため、曇りや雨の日が多く、先島諸島を中心に暴風や大雨となった。月末

には、東シナ海を東進した台風第15号や前線の影響で、九州を中心に大雨となった。

#### 9月の気候統計

月平均気温：全国的に高かった。

月降水量：沖縄・奄美でかなり多かった。一方、北日本ではかなり少なく、東日本日本海側では少なかった。これらの地域では平年の40%未満となったところがあった。東日本太平洋側と西日本では平年並だった。

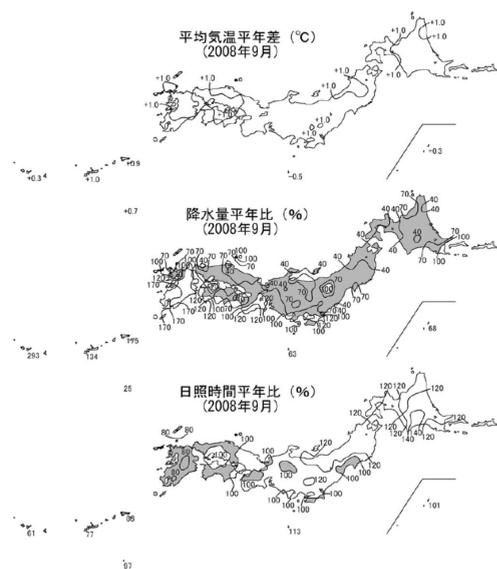
月間日照時間：北日本でかなり多かった。一方、沖縄・奄美ではかなり少なく、西日本日本海側では少なかった。東日本と西日本太平洋側では平年並だった。

(気象庁観測部統計室)

#### 9月の記録(1位更新のみ)

- ・月降水量多い方から (mm)
  - 与那国島 1252.5
- ・月降水量少ない方から (mm)
  - 室蘭 19.0 函館 32.5 むつ 35.0
  - 八戸 37.5 深浦 50.5
- ・月間日照時間少ない方から (時間)
  - 那覇 150.5 石垣島 124.0

#### 2008年9月の平年差(比)図



注) 陰影の部分は、平年より低い(少ない)地域を示す。